

人の意見を聞くことがありますか？（令和２年７月号）

西郷どんの教えその１ ９

新型コロナウイルス感染症の脅威の中、早いもので半年が過ぎ、いまだワクチン開発も道半ばの状態。「新しい生活様式」の定義がなされ、町民はもとより全ての国民がこれからの社会の在り方を模索しているのではないだろうか。このような事態の時にこそ、「人の意見を聞くこと」が重要である。西郷さんもこのような事態の時には、「己を足れりとせず」と言っています。

上に立つ人も、下にいる人も共に、己が完全無欠であるという人などいるはずがないのに、どういうわけか錯覚に陥るのか、自惚れてしまうのか、自ら反省することを忘れてしまう。上下共に自分はいまだ未熟者であることを認識することによって前に進むことができるのです。「己の愚かさを考える」という入り口は誰にでも用意されているものですが、なかなか見えないものなのです。

新型コロナ感染終息の出口が見えない今、対策の入り口を間違えないで進むことを含め、生活の基本的な所作が大切だと思います。

西郷さん曰く、「謙虚で素直な気持ちを忘れずに、みんなの意見を聞くこと」このことが、いい家庭をつくり、よい町になっていく。